

## WEEKLY REPORT

### <幹事報告:小澤直之幹事>

- 松戸中央ロータリークラブ 例会変更のお知らせ  
2018年12月13日(木)  
「夜間移動例会」家族クリスマス会  
場所:聖徳大学10号館・14F 18:00点鐘  
12月27日(木) 定款第8条第1節により休会  
1月3日(木) 定款第8条第1節により休会



- 松戸市国際交流協会より  
外国人日本語スピーチコンテストの協賛の御礼が届いております。
- 西日本豪雨災害義捐金 ¥60000-を地区へ送金しました
- 2018年11月のロータリーレートは1ドル=112円となります。

### <本日のニコニコ発表:井桁裕之会員>

- 😊 高橋 清会員 結婚のお祝いありがとうございました。お陰様での気持ちを忘れず生きていきたいと思っております。これからもよろしくお願い致します。  
吉田会員から頂いた菊の花まだ見事に咲いています。ありがとうございます。
- 😊 松丸政司会員 結婚祝いの花を送って頂きありがとうございました。妻も大変喜んでおりました。

### <ゴルフ同好会より>

松戸北ロータリークラブ会員各位

さて、今年も忘年会のシーズンがやってまいりました。  
会員の皆様の親睦を目的として、下記日程でゴルフ同好会の忘年会を開催させていただきます。  
**ゴルフ同好会以外の皆様にもご参加いただき**、松戸北RCの皆様の親睦を図る場になればと考えております。

日時:2018年12月4日(火) ※5時30分もしくは6時開始予定です。  
場所:シャトレ(北小金ボウル1階)  
会費:5,000円(同好会メンバーは2,000円)

是非とも多くの会員の皆様にご参加いただきたく、お願い申し上げます。

松戸北ロータリークラブゴルフ同好会  
幹事 柳 孝実

社会奉仕基金 3,102円 《会報編集委員》大川隆永・野澤新之助・高橋修・森谷充伯

Rotary  2018-2019年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

## 松戸北ロータリークラブ会報



インスピレーションになるう

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

### 第2227回 例会 2018年11月14日(水)

- 国際ロータリー会長 バリー・ラシン
- 第2790地区ガバナー 橋岡久太郎
- 第13G アシスタントガバナー 野村 充
- 松戸北ロータリークラブ会長 高橋 一彦
- 松戸北ロータリークラブ幹事 小澤 直之
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 カライズ'ハイツ101
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

## ＜第2227回 例会プログラム＞

12:30	点鐘 ロータリーソング斉唱 【♪我等の生業】	高橋一彦会長
12:35	会食	
13:00	会長挨拶 幹事報告	高橋一彦会長 小澤直之幹事
13:10	テーブルディスカッション	
13:25	社会奉仕基金発表 本日のニコニコ発表	社会奉仕委員会 大塚精一委員長 井桁裕之委員 高橋一彦会長
13:30	点鐘	

## ＜クラブ会長挨拶：高橋一彦会長＞

皆様こんにちは。

今月は『ロータリー財団月間』です。

次週も当クラブ財団委員会・並木委員長の提案より、今年度の地区ロータリー財団統括委員会・「ロータリー平和フェロシップ委員会」において委員長をお勤めの松戸RC織田信幸さまにR財団についてお話を頂く予定でございますが、私なりに少し今後の奉仕活動のヒントになればと調べて参りましたので紹介をさせていただきます。



少し前になりますが朝日新聞の関連広報紙に貧しい環境で生活する人達に住宅の支援をしている団体の話が掲載されておりました。この団体は国際NGO「ハビタット・フォー・ヒューマニティ」との名称で、貧困層地区への住宅支援協力を中心に活動されているそうです。

会員皆様の中には何処かで耳にされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

実は、ロータリーとも関連がある団体だそうで、活動や考えが、ロータリアンとローターアクトのための資料としても「マイ・ロータリー」にも掲載された事があるようです。

ロータリーとハビタットの活動理念には多くの共通点があり、中でも貧困地区への住居支援より望まれる「経済・地域社会の発展」や「水と衛生への対策」などが挙げられておりました。

現況として、アジアやアフリカなど都市化の進む地域の裏では、仕事を求め都市に移住する傾向が見られるようですが、実は仕事につける割合は少数に限られているそうで、国からの政策や援助だけでは追い付かず、そのような中でいわゆる就職難民が停滞することからのスラム化が問題視されている様です。衛生的な居住地を提供する事からの活動の最終目的は地域住民の自立であり、各団体、ボランティア、そして住民が参加することによるトップダウンではない「住民参加型」での対策活動が現在も進行中だそうです。

事例としてはフィリピン・マニラ近郊にあるケソン・シティにおいての、バラックと呼ばれる住居密集地の改善事業が掲載されておりました。

(次ページに続く)

また昨今、インターネットやSNS等からロータリー関連の奉仕活動情報も多く収集できる環境であると思いますので、情報収集から可能であろう活動には興味をお持ち頂き、メンバーで話題を共有していく事がはじめの一步であり、仲間意識からの結束、意味ある奉仕活動、更にはクラブの継続に繋がれるのではないかと感じております。以上。

## ハビタット・フォー・ヒューマニティとのパートナーシップ



ロータリーは、国際NGO「ハビタット・フォー・ヒューマニティ」とのパートナーシップを締結しました。ハビタットのリソースとプログラムを利用することで、奉仕プロジェクトの質をさらに高めることができ、ハビタットの支部と地元地域社会と協力して、住むところがない家族に安定した住居を提供できます。

ロータリアンとローターアクトは、これまでもハビタットと協力して低廉簡易住宅の提供に取り組んでおり、現在ではグローバル補助金を活用することもできます。

## 国際NGO「ハビタット・フォー・ヒューマニティ」との協力

ハビタット・フォー・ヒューマニティは、1976年に米国ジョージア州で発足したグローバルに住宅支援を展開する国際NGOです。宗教や経歴にかかわらず、貧困による劣悪な環境で暮らす人たちが安心して暮らせるよう、住環境の改善や建築に取り組んでいます。ハビタットによる家屋のオーナー(家主)は、ボランティアと家を建設し、低価格の住宅ローンを払います。世界には、以下の要因により、安全でない住環境で暮らす人たちが16億人います。

- ・ 人口過密
- ・ 清潔な水、適切な衛生環境の欠如
- ・ 雨漏り、崩れそうな壁(風雨にさらされる不適切な住居)
- ・ 高い賃貸料。土地所有権がないことによる立ち退きの危険
- ・ 公共サービス、教育・雇用機会、医療施設の欠如



ハビタットの資金提供・住宅支援により安定した生活基盤を築くことで、受益者は自立し、より良い生活を手に入れることができます。ハビタットは、人種、宗教、国籍に関係なくボランティアを募り、家の建築、修理、改築を行っています。1976年以来、ハビタットとそのボランティアは、世界70カ国で980万人以上を支援してきました。

ロータリーの6つの重点分野は、「誰もがきちんとした場所に暮らせる世界」を実現するというハビタット・フォー・ヒューマニティの理念と密につながっています。

【ロータリアンとローターアクトのための概要資料より】